

IPO銘柄 日本エマージェンシーアシスタンス (6063・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6063	100株	公募: 10.0万株 売出: 24.32万株 (OA5.14万株)	1,100円~1,200円 (9.3倍)	野村証券



海外での病気・怪我に対するリスク管理をサポート

■ 事業内容

損害保険会社やクレジットカード会社からのサービス受託が中心で、医療アシスタンス事業、ライフアシスタンス事業が2本柱。医療アシスタンス事業では損害保険会社のサービス規約に従い、海外旅行保険加入者に対し、海外で被った病気や怪我に対する病院紹介や支払いアレンジメント、現地治療状況のモニタリングといったサービスのコーディネートを手がける。主要取引先は損保ジャパン。カード会員向けコンシェルジュサービスを受託するライフアシスタンス事業では、コンシェルジュサービスとしてレストラン予約や買い物支援、フライトの代替交通手段確保などを手掛けている。こちらはアメリカンエクスプレスが主要顧客。売上高構成比は、医療アシスタンス事業が84.8%、ライフアシスタンス事業が15.2% (12年12月期第1四半期実績)。

■ 特徴

主力の医療アシスタンス事業では、5つの海外センターや、自社で構築した世界各国に及ぶ医療機関、関係者とのネットワーク、搬送飛行機会社などの各種海外プロバイダーを活用。アシスタンスサービスは自社展開も行っており、事業法人向けサービス以外に、内閣府から受託する中国遺棄化学兵器処理事業に関する医療支援サービス、国際医療交流支援サービスなども手掛ける。

アナリストコメント

■ 定量分析

12年12月期の連結経常利益は前年比40.2%増の2億2,900万円を計画する。為替市場の円高を背景とした海外渡航者の増加を追い風に医療アシスタンス事業が堅調なほか、11年12月期から本格化した中国遺棄化学兵器処理事業に関する医療支援サービスの増加も寄与している。

■ 定性分析

医療アシスタンス、ライフアシスタンスともに聞き慣れないビジネスモデル。明確な既上場類似企業は見当たらず、ユニークさ、独自性の強さが評価対象となりそうだ。為替市場の円高が間接的にメリットとなるビジネスモデルであり、足元の経済環境にもマッチしている。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は4.7億円。吸収金額が少なく需給妙味がある。ただ、ベンチャーキャピタルなど既存株主に掛かっているロックアップが公開価格の5割高水準で外れるため、上場初日はその水準を強く意識した展開となりそうだ。(小泉健太)

■ 類似企業

日本エマージェンシーアシスタンス (6063・JASDAQ)	予想PER9.3倍 (仮条件上限)
プレステージ・インターナショナル (4290・JASDAQ)	予想PER7.5倍
スリープログループ (2375・マザーズ)	予想PER2.8倍

■ 引受証券

野村証券、いちよし証券、大和証券、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、SBI証券、マネックス証券、エイチ・エス証券、丸三証券、SMBC フレンド証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
10年12月期(実績)	1,356	—	90	—	78	—	75.7	—
11年12月期(実績)	1,610	18.7	163	81.1	166	2.1倍	160.5	—
12年12月期(会社予想)	1,943	20.7	229	40.2	140	▲15.7	129.0	—

※ 12年3月に株式分割(1株→400株)を実施。10年12月期および11年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
10年12月期	2,595	834	149	213	143.7	17.9	69.6
11年12月期	2,595	1,053	312	213	301.5	29.7	72.1

※ 10年12月期および11年12月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	吉田 一正	500,000	44.67
2	ヴァンタークルーズヘルスサービス インク	147,200	13.15
3	ニッセイ・キャピタル3号投資事業 有限責任組合	70,000	6.25
4	DBJキャピタル1号投資事業組合	64,000	5.72
5	ジャフコV1-B号投資事業有限責任 組合	34,800	3.11
6	横浜キャピタル	32,000	2.86
7	ジャフコV1-A号投資事業有限責任 組合	21,200	1.89
8	ジェフコ・グレートエンジェルファンド 1号投資事業有限責任組合	17,600	1.57
9	ジャフコV1-スター投資事業有限責 任組合	14,000	1.25
10	スティーブ・アール	11,600	1.04

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	吉田 一正
取締役(管理本部長)	南 健
取締役(経営企画本部長)	北野 選也
取締役(事業部門管掌)	清水 豊
取締役(海外センター統括・ネット ワーク部管掌)	スティーブ・アール
取締役	ソル・エーデルスタイン
常勤監査役	前川 義和
監査役	志賀 康一
監査役	勝田 和行
監査役	三宅 秀夫

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページ又は本支店で入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会